

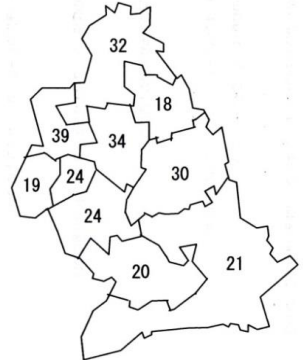
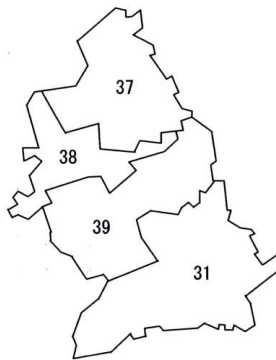
# 須磨区会のあゆみ <1>

## 会員数と分布

会員分布は海岸部の旧市街から山側の北須磨地区へ徐々に移っている

2002年5月 165人

2017年5月 262人



会員分布の変化はブロック内にも現れている。さらに19の小学校区に細分し、5年ごとに会員の増減を見ると顕著な傾向が現れている【下図】

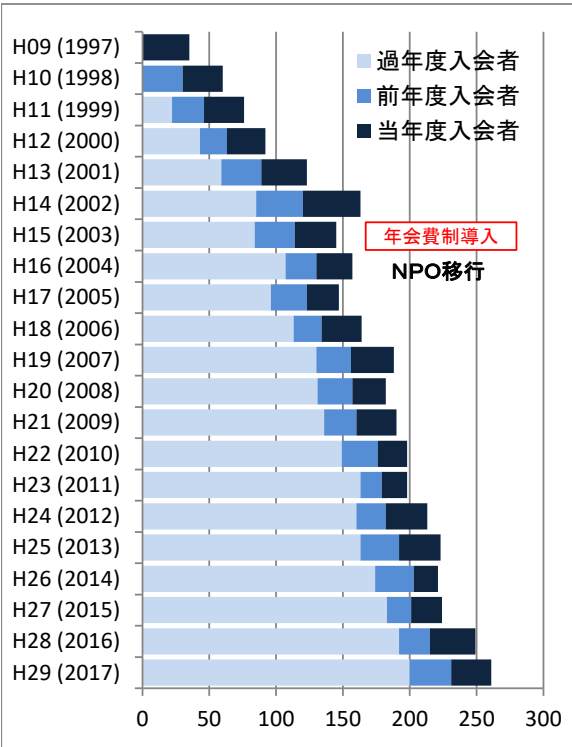
小学校区	板宿	東須磨	若草	西北須磨	高宮	横尾	妙法寺	多井畑	南落合	花谷	東落合	竜台	菅谷	西落合	神谷	松尾	白川	若草	合計		
2002年	5	3	1	3	15	10	20	5	6	21	3	6	4	8	6	5	14	7	18	5	165
2007年	2	3	2	4	11	9	20	11	6	18	5	5	5	12	13	6	18	13	13	12	188
2012年	5	2	4	3	6	9	16	13	8	21	6	7	5	14	24	3	25	15	9	19	214
2017年	3	1	3	3	11	7	13	22	8	24	14	13	7	24	19	10	29	19	13	19	262

KSC 地域交流グループ	須磨スモ	コスモ	村雨	たかくら	横尾	妙法寺	多井畑	落合花谷	竜台	菅谷	西落合	神谷	松尾	白川	若草	合計
2011年	17	16	12	17	6	13	29	13	25	8	27	9	10	19		221
2016年	8	25	13	32	3	20	23	12	12	16	20	8	8	12		212

会員分布の変化は、予兆が在校生の地域交流グループに現れている

ブロック割りは、①カバーする面積・②会員の増減傾向・③在校生の地域交流グループ活動との整合性などの条件を勘案して見直す必要がある。

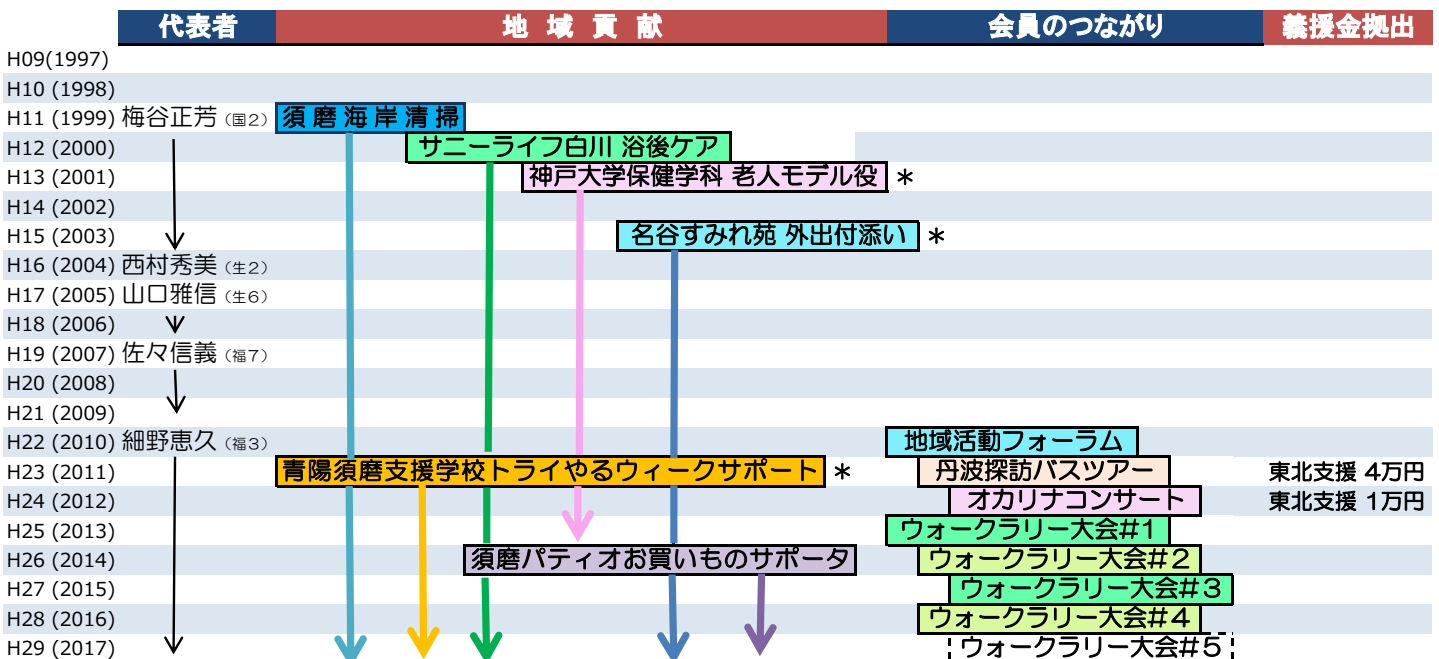


20年間に延べ 603人が入会し、現在262人。平均すると毎年30人が入会し、17人が退会していることになる。

会員数増加のメリット：  
多様なスキルが保有でき、対応の幅が広がる  
所要人数に柔軟に応じられる  
本部の活動助成金が会員数に比例して交付される

## 活動の足どり

- 区会活動の2つの方向性：  
① 地域貢献(外向きの活動)  
② 会員のつながり(内向きの活動)



2004年のNPO移行までは「委員長」、移行後は「区会長」、

固定メンバーによる継続的なグループ活動だけを示し、個人または散発的な活動は記載を省略

\* 活動先の要請に応じて随時メンバー編成

主なイベントのみを示し、広報活動などは省略